

物流の「2024年問題」に関するアンケート調査（運送事業者用）

働き方改革関連法によって2024年4月1日から適用される自動車運送業務の年間時間外労働時間の上限規制等により発生する諸問題、いわゆる「2024年問題」における宮崎県内の運送事業者の状況を把握するため、下記アンケートについてご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただく調査票は無記名方式であり、統計的に処理し、企業名等が特定されるものではございません。

1. 貴社の車両数を教えてください。（以下該当する数字に○印をご記入下さい。※けん引車は除く。）

- ① 9両以下 ② 10～19両 ③ 20～29両 ④ 30～39両 ⑤ 40～49両 ⑥ 50両以上

2. 貴社の運送形態を教えてください。（主となる運送形態を1つお選び下さい。）

- ① 長距離輸送が主である（泊まりがけの運行が多い）
② 中距離輸送が主である（泊まりと日帰りがおおよそ半々程度）
③ 近距離輸送が主である（日帰りの運行が多い）
④ ルート配送が主である
⑤ その他（ ）

3. 輸送品目を教えてください。（合計を100%として、品目毎に割合をご記入下さい。）

- ① 農水産品< %> ② 林産品< %> ③ 食料工業品< %> ④ 化学工業品< %>
⑤ 金属機械工業品< %> ⑥ 日用雑貨< %> ⑦ 飼肥料< %> ⑧ 石油製品< %>
⑨ 砂利・石材・セメント等< %> ⑩ 引越・宅配品< %> ⑪ その他()< %>

4. 物流の「2024年問題」はご存じですか。

- ① 知っており、十分に内容を理解している。 ② 知っていて、ある程度内容を理解している
③ 知っているが、内容を余り理解できていない ④ 知らない、理解していない

5. 「2024年問題」により考えられる事業への影響をお聞かせ下さい。（複数回答可）

- ① 営業収入の減少 ② ドライバー等の賃金減少 ③ 従業員等の離職の増加
④ 荷主等との交渉 ⑤ 長距離運行等の見直し・廃止 ⑥ その他の影響（ ）
⑦ 特に影響なし

6. 「2024年問題」への対応で、現在取り組んでいる（又は今後の予定）内容をお聞かせ下さい。

（複数回答可）

- ① 何から取り組んで良いかわからない ② ドライバー等の担い手確保・育成
③ 海運や鉄道などへのモーダルシフト ④ 運行計画の見直し・効率化
⑤ 賃金を含む労働条件・職場環境の見直し ⑥ 荷主等との運賃交渉・荷待ち時間等削減への交渉
⑦ その他の取組（ ） ⑧ 特に取組予定なし

7. 「標準的な運賃制度」の活用などにより、適正な運賃を収受できていますか？

- (1) ① はい ② いいえ

裏面へつづきます

（２）「はい」とお答えの方は、適正運賃を収受するための取組や工夫した点を教えてください。

（複数回答可）

- ① 荷主に対し価格根拠を明確に説明した
- ② トラブル回避のため、取引条件や交渉経緯を书面化した
- ③ 荷主・運送事業者間で定期的な打ち合わせ等の場を確保した
- ④ 料金低減策として、待機時間・附帯業務等の削減を打診した
- ⑤ 自社の強みを生かした経営計画等を策定しアピールした
- ⑥ 他の事業者の好事例等を参考に交渉した
- ⑦ その他（ ）

（３）「いいえ」とお答えの方は、適正運賃を収受できない事情は何でしょうか？

- ① 運賃交渉が必要だと認識しているが、なかなか荷主に言い出せない。
- ② 運賃交渉をしたが、荷主が応じてくれない
- ③ 運賃の値上げは困難だと最初から諦めている
- ④ 競合他社の値上げ交渉の状況を待っている
- ⑤ 自社の適正な原価が把握できていない
- ⑥ その他（ ）

８．燃料サーチャージ、待機時間や附帯業務には料金が発生すること、高速道路料金の実費等について荷主に交渉し、必要経費を収受できていますか？

- ① 全て収受できている ② 一部収受できている（収受項目： ）
- ③ 収受できていない（理由： ）

９．貴社のドライバーに係る人手不足感について教えてください。

- ① かなり不足している ② やや不足している ③ 特に不足感はない

10．貴社のドライバーに係る採用状況について教えてください。

- ① 希望どおり採用ができている ② 求職者はいるが、求めている人材像とマッチしない
- ③ 求人を出しても、求職者が集まらない
- ④ その他（ ）

11．「２０２４年問題」対応への不安や要望等、更には、人手を確保するために貴社が行っている取組があれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「物流の2024年問題」に関するアンケート調査

働き方改革関連法によって2024年4月1日から適用される自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限規制により発生する諸問題、いわゆる「物流の2024年問題」に対する消費者の意識等を把握するため、下記アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただく調査票は無記名方式であり、統計的に処理し、個人が特定されるものではございません。

1. あなたの年齢を教えてください。

- ①10代未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

2. あなたのお住まいについて教えてください。

- ①同居家族あり・戸建て ②同居家族あり・集合住宅 ③同居家族なし・戸建て
④同居家族なし・集合住宅 ⑤その他（ ）

3. あなたのお住まいの市町村を教えてください。(宮崎県外の方は都道府県を教えてください)

()

4. あなたは「物流の2024年問題」についてご存じですか。

※ 「物流の2024年問題とは？

2024年4月から、トラックドライバーの時間外労働の上限を制限する法律が適用されます。

労働時間の制限によって輸送能力が不足することにより、配達コストの上昇や配達サービスの遅延など、生活への影響が懸念されています。

- ①知っており、内容を理解している。
②知っているが、内容まではよく理解できていない。
③知らない

5. 「物流の2024年問題」について知った方法を教えてください。

- ①インターネット ②テレビ ③新聞 ④その他

5. コスト上昇分の価格転嫁が最も進んでいない業界はトラック運送業界とされています。あなたはこのことについてご存じでしたか。

- ①知っていた ②知らなかった

6. 物流について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

(i) コスト上昇分の価格転嫁のためなら、商品や送料の値上げは許容できる。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

(ii) 自宅や店頭への荷物の到着が現在より遅くなることは許容できる。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

(iii) 宅配における再配達の防止など、消費者側も協力をするべきである。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

宅配便について、あなたの状況等を教えてください。

7. 通販等を含めた、宅配便の受け取り頻度について教えてください。

- ① 週2~3回以上 ② 週1回程度 ③ 月1回程度 ④ 3ヶ月に1回程度
⑤ 半年に1回程度 ⑥ 年1回程度 ⑦ ほとんど利用していない

8. 宅配便の再配達(不在)になった割合を教えてください。

※1回目の配達で受け取ることができなかったケースとします。

- ① ほとんどすべて ② 7~8割くらい ③ 半分くらい ④ 2~3割くらい ⑤ ほとんどない

9. あなたのお住まいに、宅配ボックスはありますか。

※宅配ボックスとは、居住者が不在であっても、居住者の代わりに荷物を受け取ってくれるロッカー型の設備です。

- ① ある ② ない

10. 宅配便を利用する際、不在の場合に選ぶのはどれですか。(複数回答可)

- ① 宅配ボックスの利用 ② 置き配サービスの利用 ③ 配達時間の変更 ④ 再配達
⑤ 営業所での留め置き ⑥ 特に対応しない ⑦ その他 ()

11. 宅配便において、再配達はCO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、社会問題の一つとなっています。どうすれば再配達が削減できるか、あなたの意見やアイデアを自由にお聞かせください。

[]

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。